

# 帰ってきた

# gomidas No.4

問い合わせ 環境整備課 ☎5101



今月号は、一人あたりの回収量が県内トップの資源回収と、リサイクルを進める、紙ごみの資源化について特集します。

紙ごみはできるだけリサイクル  
資源回収は、新聞・雑誌・ダンボールだけですが、それ以外の紙をもやすごみに出していませんか。その他の紙も雑誌（雑紙）として資源化できます。資源回収に出す紙資源は、それぞれの種類別に、ひもで十字に縛って出してください。  
紙箱は開いて平面にしてたたみ、小さな紙は封筒にまとめて入れて、雑誌と一緒に縛ってください。地域の集団回収に出せないときでも、新聞・雑誌・ダンボールの日に、黄色いのぼりのあるステーションに出せば、資源回収になります。それ以外のごみステーションでも、同じ基準で収集は行いますので、分別をお願いします。



## 県内トップの資源回収

大竹市は、市民一人あたりの資源回収量が県内で1位です。リサイクルに積極的に参加している市民が多い自治体です。

具体的には、子ども会や、老人会、学校単位で、「日を決めて持ち寄り、資源回収業者に引き渡す」集団回収と、ごみカレンダーの新聞・雑誌・ダンボールの日に、「資源回収の黄色いのぼりがあるステーションに持ち寄り」システム回収の二つの制度があります。前者は、他市町村でも行っている資

源回収の方式です。後者は、特定の収集日に、特定のごみステーションを資源回収場所とする方法です。

資源回収を行うと、運営する自治会などの実施団体に、集めた資源の重さに応じて資源回収の報奨金が支払われ、活動資金の一部となります。ごみステーションに出された資源ごみももちろんリサイクルしますが、自分たちで集めたり、のぼりのあるステーションまで持ち寄ることで、自分の住む自治会に報奨金が支払われ、集まった資源はすべてリサイクルされます。

## 資源回収業者の方に聞いてみました

大竹市の資源回収は、数社の資源回収業者が行っています。資源回収に出される新聞・雑誌・ダンボールについて、資源回収業者である安田金属株式会社の白石さんに聞いてみました。

集まってくるものは、どんな状態ですか？

新聞とダンボールはあまり間違いないのですが、雑誌には、リサイクルできない紙類が入っていることが多いので、気を付けてもらいたいです。

雑誌にはどのようなものを入れていいのですか？

リサイクルを進めるためには、雑誌と一緒に回収できる雑紙（ぎつがみ）は入れていいです。家庭で不要になった投げ込みチラシ、パンフレット、コピー紙、包装紙、紙袋、紙箱などです。

入れてはいけないものは何ですか？

入れてはいけないものは、食品や洗剤などが付着しているもの、金紙・銀紙が使用されているもの、カーボン紙、プラスチック（ビニール）が付着しているものはリサイクルできないので、除いてください。混ざってしまうと、再生紙にできない（商品として使えない）ので廃棄することになります。

集められた紙は、どのようにリサイクルされるのですか？

集めた紙資源は、種類ごとにストックヤードに降ろしてから選別を行います。リサイクルに適さない紙を取り除くほか、新聞の中に雑誌が入っていたり、ダンボールの中に雑誌が混じっていたりという、種類の違いもチェックします。新聞は新聞に、ダンボールはダンボールにリサイクルされるので、品質を保つ必要があります。そろった紙は、1メートルくらいの立方体に圧縮して、針金で縛り、製紙会社に販売します。

リサイクルできない紙は、もやすごみに分別するわけですね？

大竹市では新聞・雑誌・ダンボールの3区分で回収を行っています。一般的な紙のリサイクルでは、「紙パック」という区分があります。紙パックは、分別だけでなく、中を洗い、決まった形に切り開いて、乾燥させなければリサイクルできませんが、トイレレットペーパーや、ティッシュペーパーに再生されるので、分別して、資源回収に出してほしいですね。

※平成25年4月から、「紙パック」の収集区分を新たに設ける予定です。

## スプレー缶は「カンの日」に

カセットコンロの缶や、殺虫剤、ヘアースプレーなどのスプレー缶を使い切って捨てる時は、空き缶と同じ「カンの日」に出してください。これまでも「もやさないごみ」に混じていた、中身の入ったスプレー缶が原因で、ごみ収集車の火災が起きています。

火災の可能性を避けるために、もやさないごみにスプレー缶が入っていた場合、そのごみ全体を「違反ごみ（混合ごみ）」としてシールを貼り、収集しません。  
間違ってお出された方は、持ち帰り、正しく分別し、該当するごみの日に申しなおしてください。



スプレー缶により火災を起こしたごみ収集車